

製品名: TRIM56 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03801**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.11mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 81 kDa; Observed MW: 81 kDa

抗原情報

遺伝子名	TRIM56
別名	RING finger protein 109; RNF109
遺伝子 ID	81844
SwissProt ID	Q9BRZ2
免疫原	ヒト TRIM56 の合成ペプチド

背景

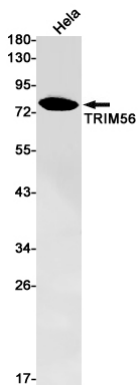
自然抗ウイルス免疫において重要な役割を果たす E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ (PubMed:21289118)。病原体および宿主由来

の二本鎖 DNA (dsDNA) に応答して、TMEM173/STING を標的として「Lys-63」結合ユビキチン化を誘導し、I 型インターフェロン IFN- β の産生に必要なステップであるホモ二量体化を促進する。E3 ユビキチンリガーゼ活性とは独立して、TLR3 シグナル伝達の正の調節因子として機能する。細胞外二本鎖 RNA (dsRNA) 誘導性 IFNB1 およびインターフェロン刺激遺伝子 ISG15、IFIT1/ISG56、CXCL10、OASL、CCL5/RANTES の発現を増強する。C 型肝炎ウイルス感染後の TLR3 リガンドおよび TLR3 媒介ケモカイン誘導による抗ウイルス状態の確立を促進します (PubMed:22948160)。

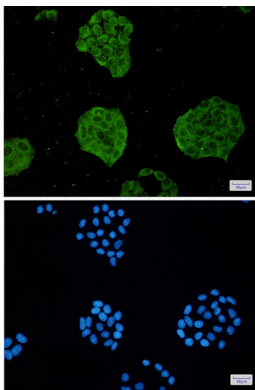
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



TRIM56 抗体を使用した HeLa 溶解物中の TRIM56 のウェスタンプロット分析。



TRIM56 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の TRIM56 (緑) の免疫細胞化学分析